

あなたの「子育て」に役立つ情報がいっぱい！
子育て応援サイトQR

しまいく



産前、産後の子育てを丁寧にサポートします！

子育ての相談は育児サポーターへ

☎子育て応援課 ☎ 36-7159

どんな時に利用するの

▼育児は楽しい半面、不安なことがいっぱい。子育て中は、誰かに話を聞いてもらったり、日々の子育てを少しでも助けてもらえたりすると、心に余裕が生まれます。

育児サポーターは、各家庭を訪問して、産前産後の大切な時期の新たな生活を、安心してスタートできるようなサポートしています。

「こんな時に、ご利用ください」

- 育児の相談はもちろん、子どもとの遊び方や接し方のコツを紹介、病院への同行や見守りなど、各家庭に応じて支援します。
 - 夜泣きがひどくて眠れない時
 - 2人目が生まれてから、上の子と関われない時
 - 寝ぐずりがひどくて、どうしたらいいのか分からない時
 - 予防接種や健診に、独りで連れて行くのは心配な時
 - 対象／次の全てを満たす人
 - 母親が市内在住である
 - 市税や水道料などの滞納がない
 - 同居の有無に関わらず、家族からの支援が受けられない申し込み/しまいく+から電子申請。または子育て応援課・保健福祉センター・金谷北・金谷南・川根支所の窓口へ
- ※来庁での申し込みができない場合は、家庭を訪問します。

利用者からの声

▼これまでの利用者は、2000人以上。支援を続けることで、たくさんの子どもの笑顔に出会えています。

「利用者からの声」

「予約するタイミングが分からず、利用する勇気が出なかったのですが、利用してみると、とても助けになりました。もっと早くから利用すれば良かったです」

「サポーターさんと話したり、子どもを見てもらったりすることで心に余裕ができ、夫にも優しくなれました」

「サポーターさんの子どもとの関わり方がとても参考になりました。おかげで、子どもとのコミュニケーションが取りやすくなりました」



私たちが育児サポーターです
一人で悩まず、お気軽にご相談ください！



子どもの命を守るための知識を身に付けましょう

熱中症対策は十分ですか

☎健康づくり課 ☎ 34-3285

熱中症の予兆と対策

【熱中症の予兆】
子どもの顔が赤く、大量に汗をかいている場合には、深部体温が上昇していると考えられ、熱中症の危険性があります。

【熱中症対策】

- 水分を多めに取る
子どもは新陳代謝が活発なため、体から出ていく水分が多く、脱水症状になりやすいです。こまめな水分補給を心がけましょう。
 - 熱や日差しから守ろう
熱のこもらない素材や薄い色の衣服を選び、日光を遮る帽子などを身に付けるようにしましょう。熱中症警戒アラートが発出されている日は、特に注意しましょう。
 - 暑い環境に置き去りにしない
「寝ているから」「少しの時間だから」と車内や室内に置き去りにすることは、命に危険が及びます。
 - 周りの大人が気にかけてよう
暑さや身体の不調を言葉で訴えることができないため、汗や体温、顔色や泣き方など、周りの大人が気にかけてましょう。
- 【熱中症の疑いがあるとき】
涼しい場所で身体を冷やして休ませ、少量の塩分が入った水分を補給しましょう。